

NEWS 絆

東北生産性本部

2023年度 仙台シンポジウム例会開催

「内憂外患のバイデン外交と国際秩序の行方」

2023年度 仙台シンポジウム例会は、笹川平和財団 安全保障研究グループ 上席研究員の渡部恒雄氏を講師にお迎えし、約50名の参加を得て開催いたしました。

■例会（2024年2月20日開催）

講師：笹川平和財団 安全保障研究グループ 上席研究員 渡部 恒雄 氏
(プロフィールなど)

1988年東北大学歯学部卒業。1995年ニュースクール大学政治学修士課程修了。同年、ワシントンDCのCSIS（戦略国際問題研究所）に入所。客員研究員、研究員、主任研究員を経て2003年3月より上級研究員として、日本の政党政治、外交安保政策、日米関係およびアジアの安全保障を研究。三井物産戦略研究所主任研究員を経て、2009年4月から2016年8月まで東京財団政策研究ディレクター兼上席研究員。9月より上席研究員専任となり、10月に笹川平和財団に特任研究員として移籍。2017年10月より現職。



【ご講演要旨】

バイデン外交と米国内の現在の内政状況、今年秋に予定されている米国大統領選挙に向けた予備選の結果と本線への見通しについて、最新情報を交えながら分かりやすくご講演いただきました。

- 米国内の分断と国際秩序の流動化
- パレスチナの戦火でバイデン外交が苦境に
- 議会での難しい交渉の継続
- アイオワ党員集会・ニューハンプシャー予備選
- 予備選の本線への影響と見通し
- トランプが再選されたときの政策は？

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

2024年度 仙台シンポジウムの予告

現在、年7回の講演会開催に向け、仙台シンポジウムの講師・テーマ選定を行っております。全体計画が取り纏まりましたら、年間計画のご案内をさせていただきます。皆さまからのお申込みをお待ちしております。

2024年度の仙台シンポジウムに、乞うご期待下さい。